



一般社団法人衛生文化協会

城西病院

城西病院 健診センター

2024年度(令和6年度)

人間ドック受診者統計

(2024年4月1日～2025年3月31日)

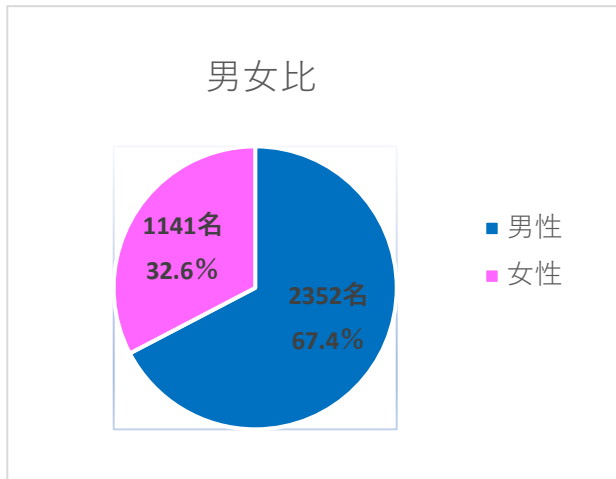
地域の皆様に「よかった」と言ってもらえるような
医療・介護サービスを提供していきます。



I 生活習慣病について

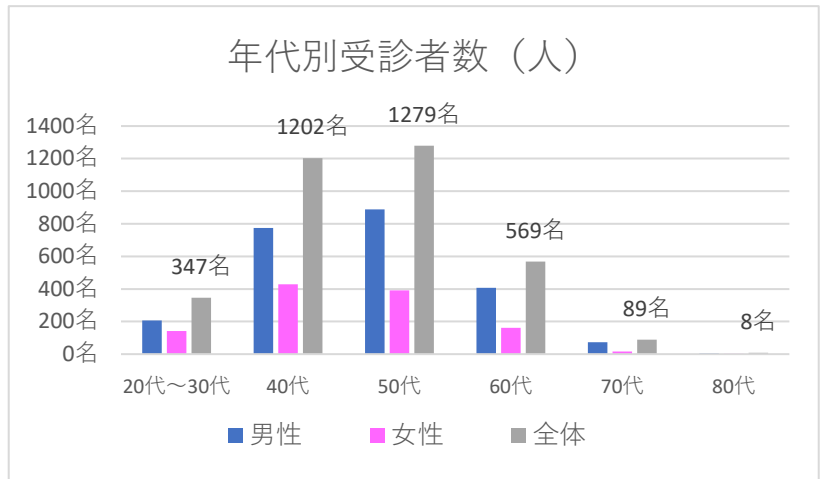
本統計の対象となる受診者は、2024年4月1日～2025年3月31日に当センターの人間ドックを受診した3493名である。

1. 男女比



2. 年齢

平均年齢 51.2±9.2歳



3. 男女別 検査結果平均値(平均値±標準偏差)

男性 2352名

・平均年齢 51.8±9.1歳

①身体計測

- ・身長 171.4±5.7 cm
- ・体重 70.7±11.5 kg
- ・体脂肪率 21.9±5.4 %
- ・BMI 24.0±3.6
- ・腹囲 86.9±9.5 cm

②血圧（治療中392名を除く1960名の平均）

- ・収縮期（最高）血圧 114±14 mmHg
- ・拡張期（最低）血圧 77±11 mmHg

③糖代謝（治療中140名を除く2212名の平均）

- ・空腹時血糖 100±13 mg/dL
- ・HbA1c 5.7±0.4 %

④脂質（治療中328名を除く2024名の平均）

- ・中性脂肪 122±87 mg/dL
- ・HDLコレステロール 63±17 mg/dL
- ・LDLコレステロール 133±31 mg/dL

⑤肝機能（治療中11名を除く2341名の平均）

- ・AST 24±11 U/L
- ・ALT 28±19 U/L
- ・γ-GTP 47±53 U/L

⑥腎機能（治療中20名を除く2332名の平均）

- ・尿酸 6.3±1.2 mg/dL
- ・Cr 0.90±0.20 mg/dL
- ・e-GFR 73.0±12.9 mL/min

⑦血液一般（治療中20名を除く2332名の平均）

- ・白血球数 5474±1458 /mm³
- ・赤血球数 486.2±41.1 10⁴/μL
- ・血色素量 14.9±1.0 g/dL
- ・血小板数 24.0±5.1 10⁴/μL

女性 1141名

・平均年齢 50.0±9.0歳

①身体計測

- ・身長 158.9±5.3 cm
- ・体重 54.5±10.0 kg
- ・体脂肪率 29.5±7.2 %
- ・BMI 21.5±3.8
- ・腹囲 79.3±9.1 cm

②血圧（治療中92名を除く1049名の平均）

- ・収縮期（最高）血圧 108±16 mmHg
- ・拡張期（最低）血圧 69±11 mmHg

③糖代謝（治療中25名を除く1116名の平均）

- ・空腹時血糖 93±9 mg/dL
- ・HbA1c 5.5±0.3 %

④脂質（治療中98名を除く1043名の平均）

- ・中性脂肪 79±59 mg/dL
- ・HDLコレステロール 80±19 mg/dL
- ・LDLコレステロール 124±33 mg/dL

⑤肝機能（治療中5名を除く1136名の平均）

- ・AST 21±7 U/L
- ・ALT 18±11 U/L
- ・ γ -GTP 24±27 U/L

⑥腎機能（治療中3名を除く1138名の平均）

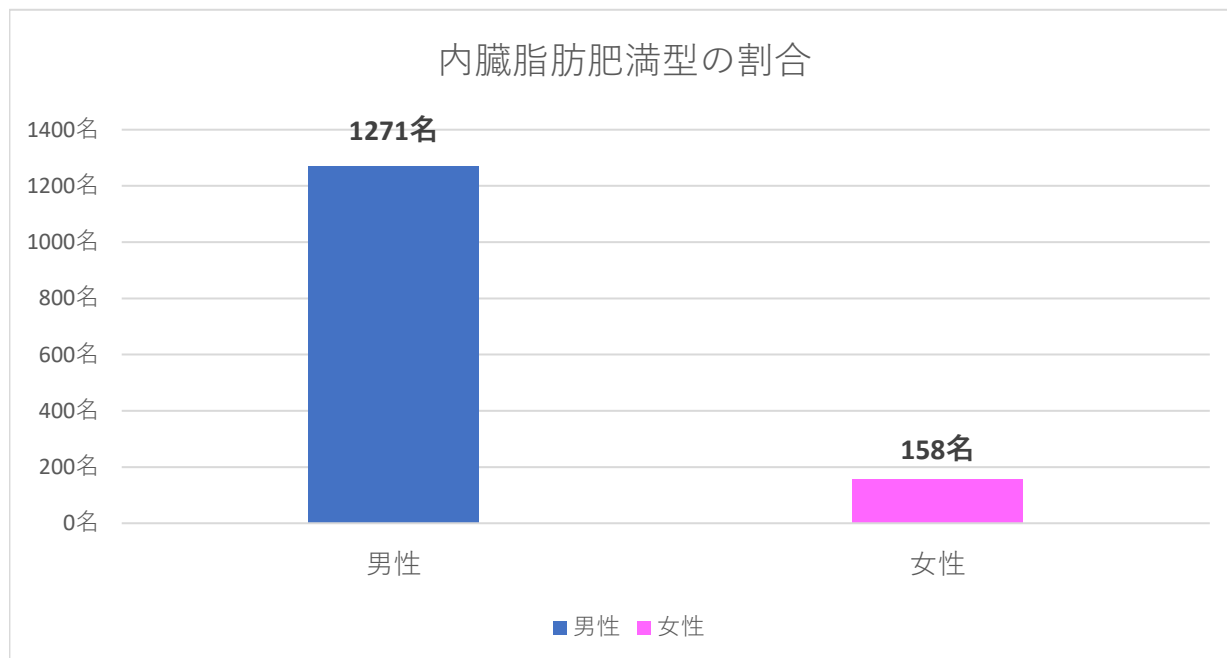
- ・尿酸 4.6±1.0 mg/dL
- ・Cr 0.60±0.10 mg/dL
- ・e-GFR 76.9±14.9 mL/min

⑦血液一般（治療中22名を除く1119名の平均）

- ・白血球数 4998±1361 /mm³
- ・赤血球数 435.7±35.1 10⁴/ μ L
- ・血色素量 13.1±1.1 g/dL
- ・血小板数 25.0±5.5 10⁴/ μ L

4. 男女別 内臓脂肪型肥満割合

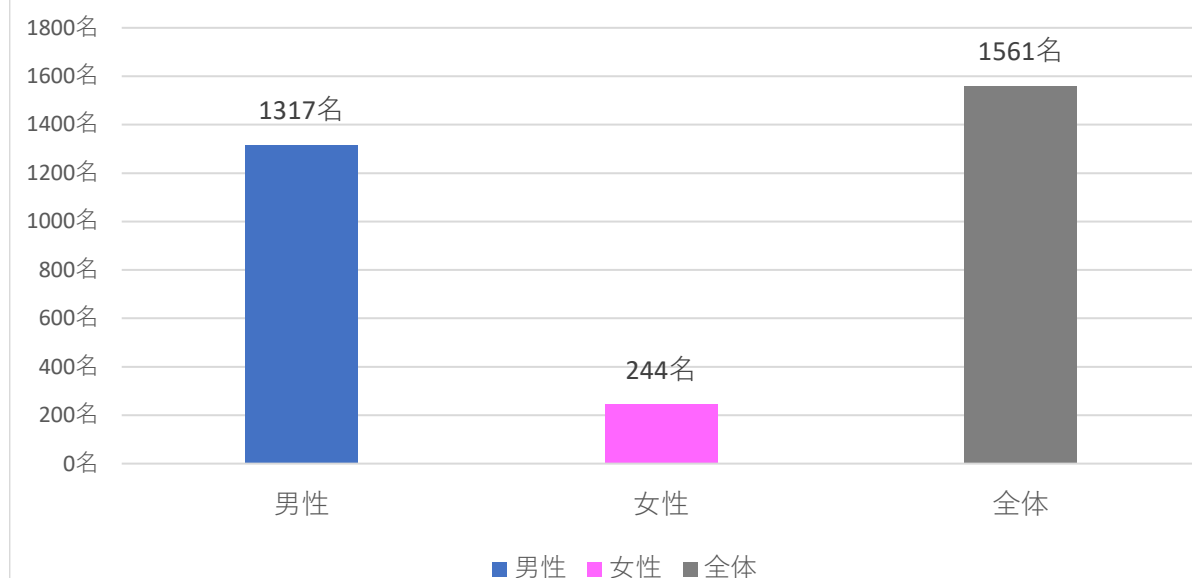
	男性	女性
内臓脂肪型肥満（人）	1271	158
内臓脂肪型肥満（%）	54.0%	13.9%



6. 男女別 脂肪肝有所見割合

	男性	女性	全体
脂肪肝（人）	1317	244	1561
脂肪肝（％）	56.0%	21.4%	44.7%

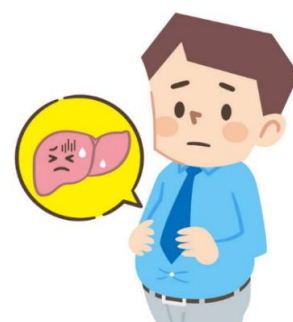
「脂肪肝」 有所見率



男女別 検査結果平均値について

- ◎ 2024年度の人間ドック受診者のうち、男性は67.4%、女性は32.6%であり、年代別では男性は50歳代が女性40歳代の受診者数が多かった。
- ◎ 検査結果の平均値のなかで、男女差が大きい項目は中性脂肪、γ-GTPであり、いずれも男性の方が平均値が高かった。中性脂肪高値は脂肪肝発症のリスクとなるが、脂肪肝の有所見率は男性56.0%、女性21.4%と、男性は2人に1人は脂肪肝であった。また内臓脂肪型肥満（腹囲男性85.0cm以上、女性90.0cm以上）の割合についても男性54.0%と女性13.9%と比較して多く、矛盾しない結果であった。

脂肪肝は肝細胞に中性脂肪が蓄積した状態のことで、さまざまな肝障害を引き起こします。今や日本に3人に1人が脂肪肝と言われており、肥満者（BMI 25以上）の80%に脂肪肝がみられます。



脂肪肝は原因によりいくつかに分類されます。

お酒の飲み過ぎで肝臓に中性脂肪が貯まる以外に、お酒をほとんど飲んでいなくても、肥満や糖尿病により脂肪肝になることがあります。これは肥満や糖尿病になるとインスリンの働きが鈍くなり肝脂肪の燃焼が悪くなるため中性脂肪が貯まりやすくなるからです。

脂肪肝に加え、肥満、耐糖能異常、高血圧、高中性脂肪血症、低HDL血症のいずれかを併発している疾患がMASLD（代謝機能障害関連脂肪性肝疾患）です。

以前は非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）と呼ばれていました。

またMASLDには、肝細胞が破壊されて機能しなくなり、肝炎や肝硬変、肝がんに行進するリスクのある代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）があります。

脂肪肝くらいなら大丈夫と考える人もいるかもしれませんが、MASLD患者の20-30%がMASHであると推定されています。

脂肪肝を放置せず、食事や飲酒、運動などの生活習慣の改善に努めましょう。

7. 有所見率※1

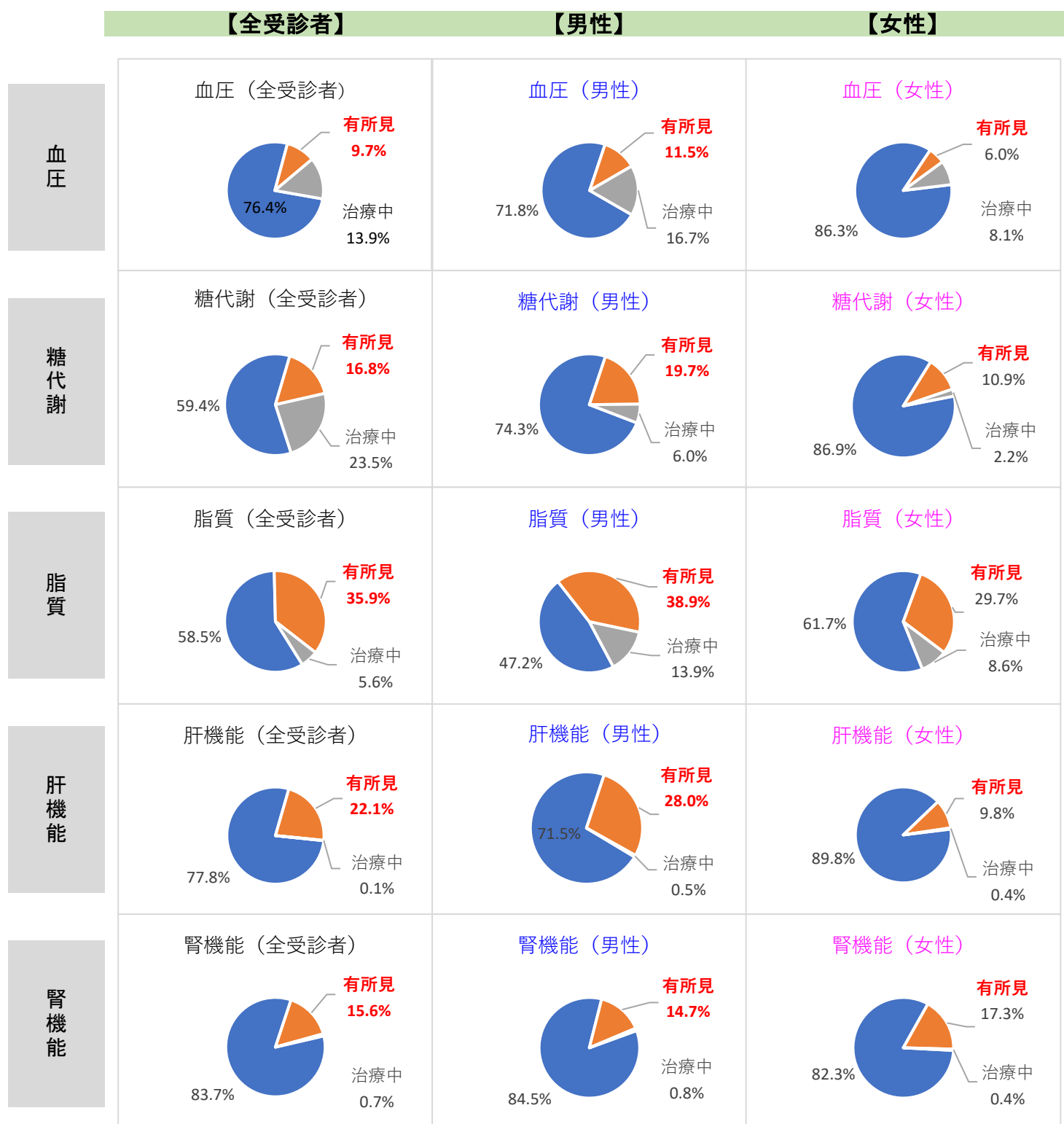
	血圧	糖代謝	脂質	肝機能	腎機能	血液一般
全受診者	9.7%	16.8%	35.9%	22.1%	15.6%	10.6%
男性	11.5%	19.7%	38.9%	28.0%	14.7%	6.9%
女性	6.0%	10.9%	29.7%	9.8%	17.3%	18.3%

※1. 有所見者は、結果判定が「C12 経過観察」、「C6 6ヶ月後再検査」、「C3 3ヶ月後再検査」、「D2 要精密検査」、「D1 要治療」である者の合計と定義する。有所見率は受診者のうち、有所見者の占める割合である。

■ 「A 異常なし」、「B 軽度異常」

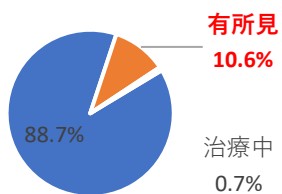
■ 「C12 経過観察」、「C6 6ヶ月後再検査」、「C3 3ヶ月後再検査」、「D2 要精密検査」、「D1 要治療」

■ 「F 治療中」

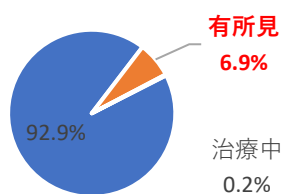


血液一般

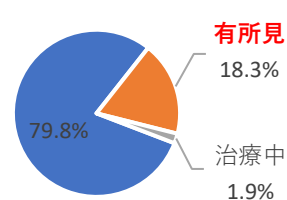
血液一般（全受診者）



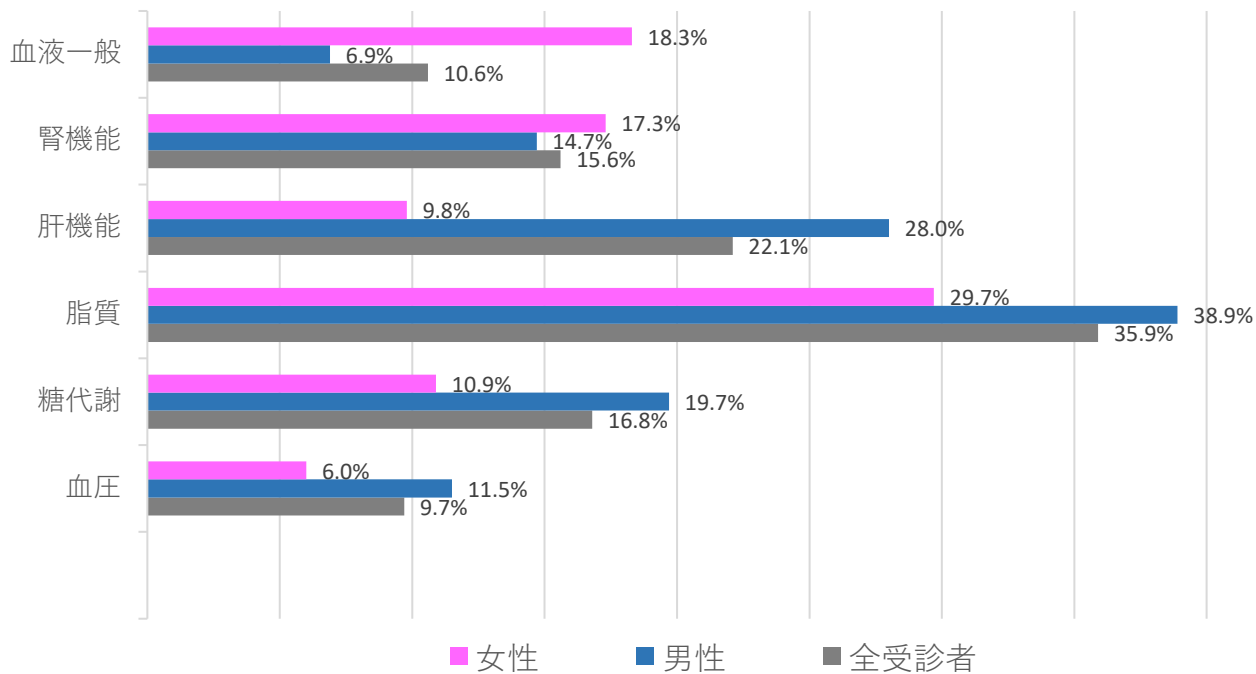
血液一般（男性）



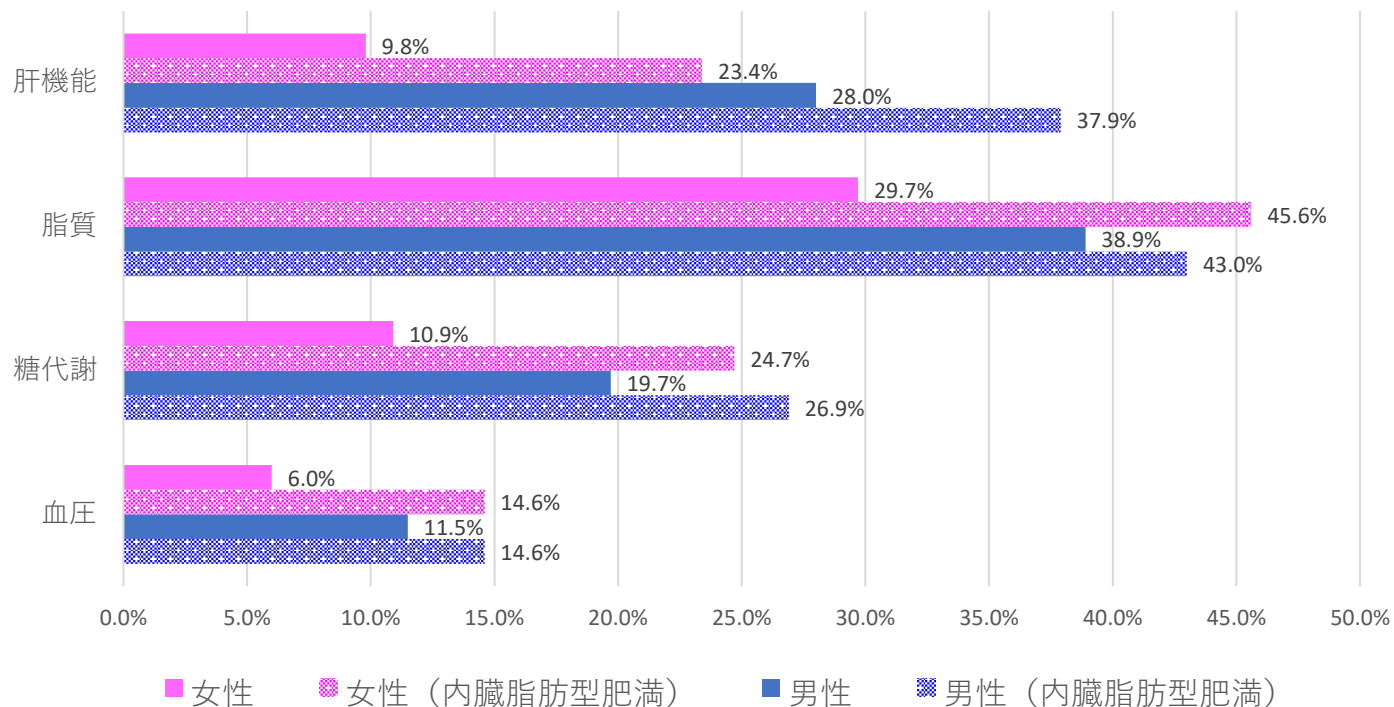
血液一般（女性）



有所見率（%）



有所見率（%）



◎男女とも有所見率が最も高い項目は『脂質』であった。男性の2位は『肝機能』、3位は『糖代謝』であり女性2位が『血液一般』、3位は『腎機能』であった。また肝機能・脂質・糖代謝・血圧については男女とも内臓脂肪型肥満の人のほうが有所見率が高いということがわかった。

脂質異常症とは生活習慣病の一種で、血液中のコレステロールや中性脂肪値に異常を来している状態をいいます。脂質異常症には特徴的な症状がありません。知らないうちに血管の老化が進み、動脈硬化につながります。脂質異常症の基準値はスクリーニングのためのものであり、薬物療法を開始するための値ではありません。まずは生活習慣の改善に努めましょう。禁煙・標準体重の維持・魚類や大豆製品の摂取を増やす、野菜、果物、未精製穀類、海藻の摂取を増やす、食塩やアルコールの過剰摂取を抑える、有酸素運動を行う、等を意識しましょう



内臓脂肪型肥満からの脱却を目指し、まずは3～6ヶ月で3%の減量（日本肥満学会より）を目指すことが重要です。
また適正飲酒についても周知が必要と考えます。

